

中学生の皆さんへ

今これを読んでいる皆さんの中には、将来の夢や進路、職業について悩んでいた、考えていたりする人がいるかもしれません。そこで、私が進路を決めた際の話をしたと思います。

私は、建設業を営んでいる実家を継ぐつもりで愛知総合工科に入学しました。しかし、資格取得や競技会出場等様々なことに取り組む中で、恩師と呼べる先生と出会い教師になりたいと考えるようになり、進路を就職から進学へと変更しました。そこからは、何度も挫折しそうになりましたが、教師を目指すと自分で決めたため困難を乗り越えることができました。この経験から進路を考えると大切だと思ったことが2つあります。

1つ目に、どんなことにも挑戦して、多くの経験をするということです。経験は、自分を形成する要素の中で一番大きなものであると私は考えています。ここでいう経験とは、部活動や勉強、資格の取得などの体験だけでなく、友達や恋人、教員との出会いといった人間関係も含んでいます。そして、経験を増やしていくことで自身の視野が広がり、進路を考える際に選択肢が多く持てるようになります。

2つ目に、自分の意志で選び、決定するということです。特に、進路などの自分の人生にかかわることに関しては、自分で決定することが大切です。自分で決定したことであれば、結果がどうであれ「自分で選んだ道」として納得して進んでいくことができます。ただし、ここで注意してほしいのが、他人の意見を聞かないことではないということです。他人の意見は、異なる考えを知る機会であり、自分の考えを整理する機会でもあります。そのため、他の意見も聞きつつ自分の中で答えを決定することが重要だと思っています。

以上の2つが、私が進路を考える際に大切だと思っていることです。

最後に、私は愛知総合工科に入学し様々なことを経験したおかげで、夢を持つことができました。

皆さんも、総合工科で多くのことを経験し、自分の夢を見つけてほしいと思います。

建設科卒業生 大柳 実加(1期生)